

プロローグ

皆様は、いま悩んでいることはありますか？ 主婦でお金について悩んでいる方、教育について悩んでいる方、女性としての在り方について悩んでいる方、さまざまいらっしゃると思います。この本を読んで前向きに「少し変えてみようかな」「一つ挑戦してみようかな」と思ってもらえたら嬉しいです。

簡単に私のプロフィールを申しますと、大学院卒業後働きもせず結婚しました。当時付き合っていた男性が福岡に転勤になり、一緒についていきました。今考えると若かったからできた行動の一つだと思えます。ただ、私はその悩まず行動したことから色々経験し、結果的に幸せに過ごせています。

あのまま東京で仕事をしていたら、違うキャリアが身についていたのかな……なんて思う瞬間も過去にはありました。しかし、それはあくまで幻想です。そんなこと考えるのも時間のムダと考え、いつも「いま」をみつめて生きてきました。

私は「税理士になりたい」と小さな頃から夢をもっていたわけではありません。税理士になったのは、初めての挫折がきっかけであり格好いいものではありませんでした。

若さゆえに何も社会を知らなかった24歳でした。福岡の地にて、どこかで働けばよいと気楽に考えていました。しかし、世間は厳しかったです。学歴がないという差別も、ニュースにとりあげられることもありますが、「大学院まで出たのに……うちの会社にはもつたいないよ……」と笑顔で何社も断られる日々が続きました。不採用の度、「私は何をしているのだろう」と知らない土地でひとり泣いていたこともありました。

一般企業の就職を諦め、大学時代少し勉強していた会計の知識を活かそうと思い税理士事務所に勤めることにしました。事務所で税理士補助業務をしていました。そのうちに担当を任せてもらい資格が欲しいと思うようになりました。仕事の幅も広がるし、顧問先に行っても資格があるのと補助職員とでは信用度も違うと考えたからです。

そこから、仕事出勤前の朝、夜自宅で勉強をし、土日に税理士資格取得のための専門学校に通いました。このことは旦那と私だけの秘密の出来事でした。両親にも友達にも内緒でした。一念

発起して、期限を決めて勉強しました。「来年駄目ならやめよう」と、ひたすら頑張りました。旦那も協力してくれ応援してくれました。いま考えると、この頃から旦那は私の生き方を尊重してくれ、いつも応援してくれている人だと思います。この支えが無かったらおそろく頑張れなかったと思います。

一年後無事合格しました。

このように、チャンスはいつも自分さえ変われば、自分さえ本気になればあるのです。

転職先の福岡であっさり企業に採用されていたら、税理士にはなっていません。現状に満足し税理士を目指そうと思わなかったと思います。東京に戻ってきてても上場会社には勤めることはできなかつたと思うのです。そう考えるとチャンスは駄目な時こそ転がっているものだと思改めると思うのです。

行動しなければ何も変わらない。行動しても何も変わらない時も当然にあります。行動しないよりは諦めもつきます。諦めがついたことだけでも成果があると思うのです。

だから、女性の皆さんにも失敗を恐れず、「あつ、これ失敗だったのかも」と思っても、すぐに方向変更して行動を起こして欲しいなと思っただけです。私も自己啓発の本は多々読みます。松下幸之助氏など偉大な方、本田健氏の手帳（出典『本田健 未来を開く手帳』永岡書店）を使い、いつも自分に活力を与えています。しかし、松下幸之助氏のように偉大になりたいとか恐れ多いことを抱えているわけではありません。

ただ、単に元氣をもらっているのです。不思議ですが、読む時々で同じ言葉でも心への刺さり方は違います。本田健氏の手帳は、2017年からずっと使っています。日ごとに色々な方の偉大なメッセージがあるので私は好きです。皆さんは、そんなお気に入りの言葉や本はありますか？

本を読んでいると、書いている人は輝いている人、先ほどの偉大な方は偉大すぎて参考にならないなんて投げやりになってしまう人もいるかと思えます。私もそんな一人です。でも参考になる部分も多々溢れているのです。

いいとこだけをするのが読書の醍醐味です。勝手に参考にし、考えを頂戴します。勝手に元氣をもらっています。

女性として、仕事、結婚、子育てとさまざまなステージに当たり悩んだり、楽しんだりする人の中で皆さんも色々経験すると思います。たった一言でも、心にいつかのタイミングで響いてくれれば嬉しいです。

眞喜屋 朱里